

「麒麟のまち関西情報発信拠点」の休業等の状況について

麒麟のまち：関西情報発信拠点について

平成29年4月より麒麟のまち圏域（鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、香美町・新温泉町）の歴史文化、観光資源等の魅力を主要商圈である関西圏へ発信するための拠点施設として「麒麟のまち」を大阪市に設置し、観光誘客・移住定住の促進、地元製品の販路拡大を図っている。

休業等の状況について

令和2年3月より、拠点が入居している朝日ビルにある「フェスティバルホール」の公演中止が相次ぎ、来客数が激減していたこともあり、3月下旬より土日祝の休業を余儀なくされ、4月7日19時から、非常事態宣言の発令に呼応する形で、全面休業に入る。

非常事態宣言の解除もあり、6月1日より時間短縮・土日祝休業（フェスティバルホールでの公演中止の状況は継続）で、営業を再開した。

さらに7月1日より、正常時間での営業とするものの、同ホールでの公演がない休日に関しては、土日祝の休業を継続している状態である。

圏域フェア等について

令和元年度は、各町のご協力のもと、「圏域フェア」と称し、各町で行われるイベントと呼応し、そのイベント前の2週間程度の期間をもって、特産食材を用いた飲食メニューを開発・提供するとともに、ポスター等を掲示した。

令和2年度に関しても同様に圏域フェアを行うこととし、年度当初に、拠点の委託業者：地域商社とつとりとともに、各町担当者とフェアのスケジュールについて協議する予定であったが、実施日程の調整がつかず、実施が困難となっている。

今後のフェア・イベントへの協力依頼について

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、感染予防対策に留意したうえで、圏域フェアを含む各種イベントの再開を予定している。

大型のイベントを開催して、新規顧客を開拓するのではなく、朝日ビル内のワーカーなどの固定客に対するPRを重点的に行うなど、誘客に関する施策の再検討を行う。

- ・地酒の提供や食材輸送料金を負担することで地元価格での料理を提供するキャンペーンを実施し、固定客であるランチタイム利用者とディナータイムに誘引。
- ・店内コンテンツ、ディスプレイを充実。新規動画の作成。
- ・鳥取市公式インターネットショップ「とっとり市」商品の紹介を行い、圏域商品をPR。
- ・HPのリニューアルを行い、SNSでの発信の強化。
- ・朝日ビル内にあるカルチャーセンターでの広報など、対象を絞った広報活動を充実。

特に、固定客に向けた発信強化のため、店内コンテンツに使用する動画など、広報媒体の提供に関し、ご協力をお願いしたい。